

## 平成 21 年度ユニバーサルデザイン (UD) 教育の取組

1 学校名	武雄市町立西川登小学校		
2 所在地	武雄市西川登町神六 2 0 5 8 4		
3 校長名	大久保 美奈子		
4 学級数 児童生徒数	6 学級 8 8 人	5 実施学年 児童生徒数	3 年 1 6 人


### 6 取組のねらい

- UD について関心を持ち、ユニバーサルデザインとは何かを理解し、自分たちの住む家や町には、どんなものがあるか意欲的に調べようとする。

### 7 取組の実際

#### (1) 「ユニバーサルデザイン」って何だ

どんな人でも、<sup>ふじゆう</sup>不自由な状態<sup>じょうたい</sup>になることがある



さいしょから  
 ✦ あらゆる人のことを考えて  
 ✦ できるだけたくさんの方が使いやすいように  
 デザインする

**ユニバーサルデザイン**

パワーポイントによる説明を聞きながら、自分たちの暮らしについて話し合う。

#### 児童の感想

- ・難しいことだと思っていたけど、自分の周りに意外とあるなと思った。
- ・自分の学校にもあると思った。
- ・特別な人のためのことじゃないと分かった。

#### (2) 「ユニバーサルデザイン」を探せ



自分たちの学校の中に、どんなユニバーサルデザインがあるかを調べる。

#### 児童の感想

- ・「みんなのトイレ」は、いろいろ考えてしてあるなと思った。
- ・学校にエレベーターがあって、いろいろな人が使えるからいいと思う。

#### 児童が見つけたユニバーサルデザイン

- ・低い所にあるエレベーターのボタン
- ・トイレの手すりや自動で流れる水道
- ・誰でも開きやすいトイレのドア
- ・車いすでも入れるトイレの広さ
- ・車いすでも入れる玄関のスロープ



(3) 「ユニバーサルデザイン」を探せ



自分たちの住む家や町に、どんなユニバーサルデザインがあるかを調べる。

児童が見つけたユニバーサルデザイン

- ・家の床のバリアフリーや手すり
- ・持ちやすいシャンプー・ギザライン
- ・前面に取り出し口のある洗濯機
- ・駅や店の中にある黄色点字ブロック
- ・音の出る歩行者用の信号機
- ・低いボタンと取出し口の自動販売機
- ・外国人にわかる英語で書かれた看板
- ・外国人にもわかるトイレ等のマーク
- ・高い所と低い所の両方ある手洗い
- ・スーパーにある車いす専用の駐車場

(4) その人の立場になって体験しよう



アイマスクなどの疑似体験によって、ユニバーサルデザインでない生活の大変さを感じ取る。

児童の感想

- ・車いすで階段を下りようとしたら、怖くて泣いてしまいました。
- ・アイマスクをしたら、何も見えなくてどこに何があるかわからず、怖かった。
- ・お年よりの体験をしたら、足が曲がらず、ロボットのように動いてしまった。
- ・トイレが狭くて車いすで回れなかった。



気付いたこと

- ・トイレの中に入りたい時は、目の不自由な人はどんなに大変だろうか。
- ・お年よりは、こんな思いをして階段を上り下りしているんだなあ。お年よりは、大変だと思いました。
- ・車いすの人は、階段を使うと大事故になるんだなあ。エレベーターがあるといいなと思った。
- ・目が不自由な人は、大変だと思った。

(5) 体験「ユニバーサルデザイン」



アイマスクなどの疑似体験によって、ユニバーサルデザインであることの有意さを実感する。

児童の感想

- ・みんなのトイレは、広くて、手すりがいくつもあった、すわりやすかった。
- ・明かりも水も自動でよかった。
- ・かがみが斜めだったから見やすかった。
- ・車いすでは、エレベータのボタンが近くにあって、おしやすかった。
- ・前のかがみで、後ろを見なくてすんだ。

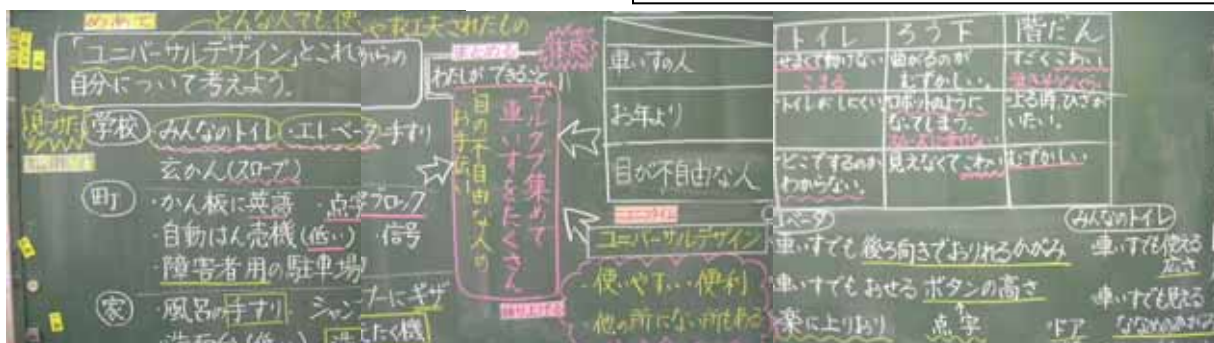


気づいたこと

- ・みんなのために広がっていてUターンもしやすく、これなら車いすの人でも安心だと思った。
- ・かがみが斜めになっていて、ちょうどいい高さにあるのは、車いすの人が使いやすいと思った。車いすの人のことを考えているなと思った。

(6) 話し合おう「ユニバーサルデザインとこれからの自分」

これまで、ユニバーサルデザインについて調べてきたことをまとめ、気づいたことや考えたことを話し合う。



児童の感想

- ・目が不自由な人や車いすの人やお年よりがこんなに大変なのかと感じました。
- ・トイレや階段を使う時、ユニバーサルデザインは、絶対にいると思います。
- ・町や家にたくさんユニバーサルデザインがあると安心できると思いました。
- ・ぼくは、これからプルタブをいっぱい集めて車いすを何台も買いたいです。

## (7) 他教科等との関連

道徳 「口で歩く人」出典：日本標準 みんなで考える道徳4年

車いすの上に寝たままの状態でありながら、いろんな所に出向いていく青年の笑顔のわけを考えながら、一見ハンデイと思えることも、前向きな考え方によって、輝いて生きていけることを感じ取る。

国語 「もうどう犬の訓練」出典：東書 よりよいくらしについて話し合おう3年  
盲導犬の訓練について書かれた説明文を読むとともに、「障害」に対して関心を持ち、調べたことを話合う。

## 8 取組の成果と課題

### (1) 成果

- ・ ユニバーサルデザインに関する図書の本を読み出す子が数人出てくるなどUDについて関心を持つ児童が増えてきた。
- ・ ユニバーサルデザインについて関心を持ったことで、自分たちの住む家や町の中にあるものを意欲的に調べてきて、意外に多いことに気付くことができた。
- ・ お年よりや障害者の立場になったの疑似体験活動では、児童は、主体的に学習を進めながら、ユニバーサルデザインである場合とそうでない場合との違いを実感的にとらえることができた。
- ・ ユニバーサルデザインへの児童の意識が高まってきたことで、自分たちと周りの人と共存していくために、これから自分ができることを考えるきっかけになった。

### (2) 課題

- ・ 障害のある方に対して共感的に寄り添い、すべての人が便利で幸せに暮らせる社会を目指すことの素晴らしさを気付かせた上で、学習を進めないと、効果が望めない。
- ・ そのことに留意して指導しないと、ただの知識だけの学習に陥ってしまう。そうすると、かえって「障害」に対する偏見をうみ、「かわいそうな人」「特別な人」「自分より下の人」といった差別的な思いを持たせてしまいかねない。
- ・ イベント的に学習を終わらせることなく、道徳との関連を図り、ある程度の時間をかけてじっくり心の面からも指導を重ねていく必要がある。
- ・ この学習にある程度の時間をかける上でも、総合的な学習など、他教科・領域等との関連も図っていく必要がある。